



『東金Stories 2024』開催しました!

10月12日(土)福祉のまち推進委員会では東金Stories 2024を開催、今回はバルーンリリースに加え、新たな企画として回収した古着がポリオワクチン(Tシャツ約120枚で5人分)となり開発途上国の子どもたちを救うとともに自身の部屋も片付け、社会貢献にもつながる取り組み「古着deワクチン」も行いました。

当日の天気は快晴、古着deワクチンブースにはその取り組みに関心を持たれた方が多く訪れ、たくさんのお古着が集まりました。セレモニー前にはYASSAWAVEDANCE SCHOOLチャレンジダンス、空手道無限優進会、RYUKI、04の迫力ある壮大なパフォーマンスが会場に一体感を生み出しました。会場の中央公園に集まった子どもから高齢の方、医療・福祉関係者

約550名の興奮が最高潮に達する中、メインイベント「バルーンリリース」に移り、一発勝負の「東金(心の中で1、2、Stories!!)」の掛け声と同時に1、2000個の風船が一斉に高く青空に舞っていきましました。大歓声は風船が見えなくなるまで続き、たくさんのお古着を乗せた色とりどりの風船を会場の皆さんで見守りました。

今回も準備段階から東金市高齢者支援課、東金市社会福祉協議会、東金市東部・西部包括支援センター、東金商工会議所青年部、参加事業所等多くの協力により無事終えることができました。心から感謝申し上げます。東金Storiesの目的である「認知症だけでなく障害を持つ方、高齢者、子どもたちと地域住民を繋ぎ、人に優しく住みやすい地域づくりを啓蒙する」という活動も4回を数え、来場し



た全ての方々が笑顔に包まれた光景は今回も大成功だった証でしょう。皆さん、「来年もまた飛ばしましょう!」

9/29(日)に今年度で29回目となる「八鶴湖クリーン作戦」第一部を開催いたしました。天候不良により開催を1日延期しましたが、当日は東金市内の小学生と保護者を含め約50名の参加者が来場され、八鶴湖は大きに賑わいました。



今年度は「アクアボール水上探検」と題して、八鶴湖の水面上に賑わいました。当日の運営にご協力して頂いた関係団体各位、並びにご協賛頂きました皆さま誠にありがとうございました。11月には八鶴湖クリーン作戦第二部として桜の植樹を予定しております。

風船のような球体)に入って歩くという催しを行い、普段は中々体験することのできないアクアボールに子どもたちは興味津々で、楽しんでる姿がとても印象的でした。アクアボールの他にも、水のろ過実験・植樹の際に使用する柵板のお絵描き・AED講習を用意し、体験を通じて色々な学びや気づきを得られたことと思います。

YEG 青年部だより

八鶴湖クリーン作戦第一部「アクアボール水上探検」

満員御礼!

・山武郡市広域行政組合消防本部
文責 まちづくり委員会委員長 伊藤 恒平



閉会式後集合写真「募集定員いっぱいのお申し込みがありました」

女性会だより

9/12 県女連Cブロック事業(成田)



SDGsの取り組みと地域貢献事業について

県女連Cブロック事業として、成田市内事業所のご協力のもと、視察研修が行われました。日本航空(株)成田空港支店長大八木敦子氏による講演や、廃棄物処理施設であるナリコーク

9/25 ランチ交流会



忘れられない時間を過ごすことができました

女性会の交流事業としてランチ交流会を行いました。美味しい食事と和やかな雰囲気の中で、会員同士の交流を深めることができました。

10/6 視察研修旅行

千葉市動物公園と、来年に閉館が予定されている川村記念美術館に行きました。千葉市動物公園においては、園長を務められている鍋木一誠氏のご厚意により、講演会を開催していただき、動物園は見て楽しむだけの施設ではなく、「調査・研究」「教育・環境教育」「種の保存」といった社会的な役割がある点、千葉市動物公園においては、野生動物が本来生息している環境に合わせた展示を行っていることなどについて説明していただきました。



とても貴重な体験ができました! ありがとうございます!

ですが、惜しまれつつも10月末をもって閉店するというところで、長年にわたる営業、本当にお疲れ様でした。

女性会では今回のお礼の意味も込めて、千葉市動物公園にて開催される「ちばZOOフェスタ2024(11/2/11/4)」に協賛させていただいております。この記事をご覧になられた皆様もぜひ来園を検討していただけたいと思います。

山の辺から⑦

「搗根藩のモデルは」

宮部みゆきの人気シリーズ「三島屋調百物語」に「生まれは上総国の搗根藩というところでして」と語る房五郎が登場するのは、四之巻「三鬼」の第三話「食客ひだる神」。搗根藩は「江戸市中から三日足らずで行き来でき、四季を通して気候がとくにだんに厳しいわけではない」土地だ。夜明けに城下を発せば、夕暮れときには街道に出られるが、その寸前に「ななかの切り通し」と呼ばれるところがあり、房五郎がそこで妖怪に憑かれてしまう、というのが怪異譚の始まりだ。だが、このシリーズには珍しく、悲惨な災厄や恐怖の後味が無い、ほほえましい筋の運びと、ほろりとする結末が用意されている。

江戸時代、東金は幕府の直轄領で、福島藩の管理下にあったので、東金がそのまま搗根藩のモデルになったわけではないだろう。街道への距離からすると、同じ上総でも、もう少し南の土地を想定しているようだ。が、「東の東金、西の木更津」とその繁栄をうたわれた時代が舞台なので、前回の漱石のオチではないが、上総地方のイメージを包括する地名として「とうがね」の名が使われたのではないかと、勝手に想像している。

広報委員 下

毎週開催!とうがね

スマホCLUB

毎週金曜日 10:30 ~ 約1時間半
持ち物: スマホ
参加費: 500円

11月 1日 8日 15日 22日 29日

新しい生活様式で「取り残され感」のある中高年のみなさん、スマホデビューしませんか?

場所: 中央コミュニティセンター

第109回八鶴湖生き物調査

空を見て雨対策、雨天決行です。

11/2 SAT

帽子・タオル・暑さ対策、雨対策、各自で準備をお願いします。

集合: 八鶴館さくらホール
時間: 9:00 ~ 11:45頃

QRコード

まちの駅ネットワークとうがね

TEL (株)街波通信社 0475 (86) 7772